

セミナー企画書

山田真由子/山田真由子社会保険労務士事務所 代表

(電話) 090-8446-5514

(メール)officeyamada@nifty.com

【タイトル】

管理職が身につけるラインケアの実務

～部下の変化に気づき、適切に関わり、早期対応につなげる～

【参加者対象】

- 管理職・監督職・リーダー
- チームマネジメントを担う職員
- 部下のフォロー・面談・評価を担当する職位
- メンタルヘルスや離職増加に課題を感じる部署の責任者

【参加者が得られるメリット】

- ▶ 部下のメンタル不調の初期サインを見抜く視点が身につきます。
- ▶ 管理職として求められる「安全配慮」と「声かけ」の実務が理解できます。
- ▶ 傾聴・面談のポイントを押さえ、トラブル悪化を防ぐ関わりができます。
- ▶ 判断に迷う場面で「何をどこまで、どの順で対応するか」が明確になります。
- ▶ 必要なときに産業医・人事・相談窓口へ“適切に橋渡しできる”実務力が高まります。
- ▶ ケース検討により、現場で再現できるレベルでスキルを定着できます。

【コンセプト・概要】

メンタル不調の早期対応は、生産性・安全配慮・離職防止のすべてに関わる重要な管理職の役割です。

本セミナーでは、部下の変化に気づく視点、適切に聴いて関わる面談スキル、必要時に専門家へつなぐ判断軸を、実務で使える形で整理します。

目的は、「気づく→関わる→つなぐ」を管理職が職場で確実に実践できる状態をつくることです。

【内容】

（１）なぜラインケアが必要なのか

- ▶ 心の不調者の増加
- ▶ 生産性低下（プレゼンティーズム）の影響
- ▶ 安全配慮義務の広がり（判例解説）

（２）メンタル不調の初期サインを知る（LOOK）

- ▶ 行動・態度・表情の変化
- ▶ ストレスが高まりやすい時期
- ▶ 「け・ち・な・の・み・や」の注意ポイント
- ▶ 【演習】部下の変化に気づく観察チェック

（３）面談で不調を悪化させない聴き方（LISTEN）

- ▶ 聴く姿勢の整え方（環境・姿勢・時間）
- ▶ 「聞く／訊く／聴く」の違い
- ▶ 傾聴セルフチェック
- ▶ 専門家につなぐ判断軸と連携方法（LINK）
- ▶ 【演習】声かけの実践と改善

（４）ケースで学ぶ“困った場面”への対応

- ▶ 事例①：元気がない部下が「大丈夫」と言う
- ▶ 事例②：無断の休みが増える部下
- ▶ 事例③：死にたいと話し出す部下
- ▶ 【演習】上司として何を、どこまで行うか

（５）専門家につなぐ判断軸と連携方法（LINK）

- ▶ 健康管理室・産業医・相談窓口へのつなぎ方
- ▶ 「伝えてよい情報」と「守るべき情報」
- ▶ 自殺リスクの兆候を見た場合の対応
- ▶ 相談後に管理職がやるべきフォロー

（６）職場で再現するための行動計画

- ▶ 今日からできる実践ポイント
- ▶ やめる行動／始める行動

所要時間：90 分～180 分程度（ご要望時間にあわせカスタマイズ可能）

参加特典：当日のセミナー資料（PDF 版）を希望者に進呈